

受け継がれる伝統の夏

多古祇園祭

7月25日26日の二日間にあつて行われた祇園祭。山車のきしむ音、祭り囃子、人々の威勢のいい掛け声が、町内に響き渡った。



宝くじ委託事業収入を財源として、各地のコミュニティ活動に助成を行っている財団法人『自治総合センター』の助成を受けて、県指定無形民俗文化財に指定されている『しいかご舞』の舞台と基礎、収納庫が新しく生まれ変わりました。

しいかご舞の舞台がリニューアル



今年のしいかご舞を支えた皆さん

10メートルもあるつくめ柱の上で華麗な猿を演じたのは、仲町の秋葉忠さん。(写真前列右から2人目)



鈴木俊弘さん(左)と増田彩乃さん(右)

本町の祭り大好き人間★「祭りといえば前橋さんでしょ!」



(左から)勝又美紗希さん、大矢紫帆さん 佐瀬瑛理奈さん、菅澤奈月さん

仲良し6年生4人組♥「夏休みに入るとワクワク。毎年お祭りが待ち遠しい!!」

編集後記

★7月下旬から8月中は、子どもたちにとって待ちに待った夏休み。しかし私には「夏休みの宿題」という、親として避けては通れない「夏の苦勞」がのしかかります★学習ドリルや読書感想文、科学工作に自由研究と、その種類は多種多様。しかも小学校に通う子どもが3人もいるため、妻と協力しないと、とても対応できません★「代わりにやってしまった方が簡単」と思っても、そうはいきませんので、ヒントを出したり、アドバイスをしたりするのですが、これがなかなか大変なのです★しかし8月末になると夏休みも終わり、普段の生活を取り戻します。これでやっと「夏の苦勞」からも解放されますが、なぜか少し寂しい気持ちになるのは私だけでしょうか？

★エアコンは快適ですが、何となくだるい感じが体に残りませんか？歳をとったのが、若い時と違って同じ事をしても疲れが抜けないのが最近の悩み★取材で保育所にお邪魔をしたら、子どもたちは元気ハツラツ！汗びっしょりの先生も首にタオルを巻いて元気いっぱい!!作品の題材になった皆で育てた野菜について話す時の、子どもと先生のキラキラ輝く瞳が印象的でした★先生が「お姉さんが写真撮りに来てくれました」と言うのと、子どもたちの顔に浮かんだ???マーク。急いで「おばちゃんですよ」と訂正しましたが、それでも一瞬の間が…。もしやあの年代の子どもたちからみれば、既に「おばあちゃん」の域だったのかもと不安になった私…バツテンおんぶの日もそつ遠くはない…